

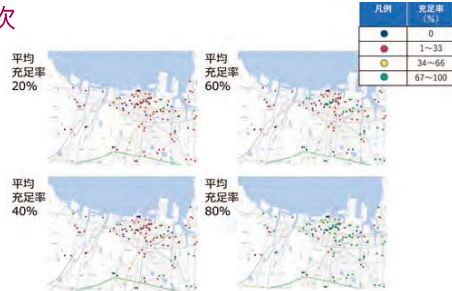
TOPICS

創造工学部学生が土木学会全国大会・第77回年次学術講演会で優秀講演者に選ばれました 9/16

9月12日～16日に国立京都国際会館と京都大学吉田キャンパスで開催された土木学会全国大会において、創造工学部防災危機管理コース1期生の真井翔太郎さん(昨年度卒業、現四国電力株式会社)が優秀発表者に選ばれました。真井さんの発表は「南海トラフ」大地震における分散型物資輸送計画の提案」

という主題に関するもので、防災危機管理コース在籍時の卒業研究の成果をとりまとめた内容でした。

発表スライドの一部(時間経過とともに避難所に物資がいきわたる様子を模擬)



「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム、四国ブロックキックオフシンポジウム」を開催しました 10/7

デジタル社会の「読み・書き・そろばん」とも言われる「数理・データサイエンス・AI」は、今後あらゆる分野で活躍するために必要となる知識・技術です。本学は文部科学省から「数理・データサイエンスAI教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)」に認定されており、四国ブロック代表校として先導的に教育体制の構築や

普及、人材育成を牽引しています。キックオフシンポジウム当日は、大学関係者及び企業関係者114名(会場参加60名、オンライン参加54名)にご参加いただき、本教育事業の取り組み事例や産業界との連携協力等について四国ブロックの“これまで”と“これから”を考え、期待が高まる有意義な場となりました。



会場の様子(JRホテルクレメント高松)

第74回香川大学祭を開催しました 10/28~30

2020年以降、新型コロナウイルスの影響で、オンラインや学内者限定での開催となっておりましたが、今年は地域の方にもご参加いただけるよう、より規模を拡大した形での開催となりました。

今年の大学祭のテーマは「麗〜かがやき〜」

です。このテーマには、大学祭を通じて学生や地域の方と交流することで、気付きや学びという大切な光を集めて一つの大きな「麗」を生み出せるような大学祭にしたいというH.O.P.(大学祭実行委員会)の学生達の思いが込められています。

当日は、サークル等によるステージ発表・企画展示、キャンパスコレクション、キッチンカー出店、お笑い芸人ライブ、モニュメント展示等、様々な企画が催され、3日間で延べ約4,000人と、多くの方に来場いただき、大盛況のうちに終えることができました。



モニュメント展示(アンブレラスカイ)



キッチンカー



よさこい連「風華」によるパフォーマンス

大学祭2022企画 中・高生向けシンポジウム「地域イノベーションの創出×データサイエンスって何?」を開催しました 10/30



数理・データサイエンス・AIスキルを身につけることがどうして地域イノベーションの創出につながるのか、なぜ文系にも理系にもこのスキルの体得が求められるのかについて講義と討論会があり、地元高校生を含む約40名

が参加しました。後半では2024年度に実施する入学者選抜から加えられる科目「情報」を含む入試の最新動向についても紹介があり、大盛況のうちに終了しました。



KADAIGEST 2022 10



香川大学 バレーボール部

香川大学バレーボール部は、男子1部リーグ優勝、女子1部リーグ昇格を目標に、日々練習に励んでいます。バスやサーブなどの基礎となる練習から、ゲーム形式での実践まで、さまざまな方法を組み合わせながら、目標達成に向けて練習しています。

私たちバレーボール部は、大会で成績を残すことだけが目標ではなく、礼儀や社会人になる上でのスタンスを身につけていくことも大切にしています。

私は今まで体育以外でバレーボールに触れたことはありませんでしたが、マネージャーとしてこの部に所属し、選手のために練習をどう効率よく行かろう、どうサーブ

トできるのかを常に考えていくことで、先の行動を予測しながら動く力を身につけられました。選手が楽しそうに一生懸命練習している姿や、試合で生き生きとしている姿を見ることが嬉しく、何よりもやりがいを感じる瞬間です。

初心者・経験者問わず、バレーボールの基礎だけでなく人間性まで学ぶことができます。チームスポーツをしてみたい、バレーボールを見るのが好き…そんな方はぜひ一度、体育館へお越しください。選手もマネージャーも大歓迎です!そして、この秋から新体制となるバレーボール部の応援、よろしくお祈りします!

活動場所 ・香川大学幸町キャンパス 第1体育館・第2体育館

活動日 ・男子:月・火・金・土曜日
・女子:火・水・金・土曜日

部員数 ・男子:15名・女子:19名

Instagram ・@kagawa_volleyball_club
ご連絡はDMまで



教育学部3年
森脇 ゆな
高松第一高等学校出身

VOICE

香川大学 ESD プロジェクト SteepP 地域とともに環境問題に取り組む学生主体のプロジェクト



メンバーの集合写真

香川大学学生ESDプロジェクトSteepP (以下、ステップ) は、地域や学生のみならず、海ごみ・食品ロス等の環境問題や社会問題に理解を深めていただくことを目的として、香川県内をメインに、啓発イベントや出前授業を行う学生主体のプロジェクトです。また、メンバー全員が香川県学生地球温暖化防止活動推進員として認定されており、香川県民に向けて地球温暖化防止を始めとした情報発信をしています。

ステップでは、3つのイベントを軸に幅広いテーマで活動しています。1つ目は、環境出前講座です。環境出前講座では、環境問題を始めた諸問題やSDGsに関する授業・ワークショップを学校やコミュニティセンター、環境イベント等で実施しています。当講座は室内での講義だけでなく、牛乳パックや廃油といった家庭から出る不要なものを利用したエコ工作や、まちを歩きながらエコなものやSDGsなものを探そうエコ眼鏡・SDGs探しも実施しています。2つ目は、海ごみ拾

いイベント「僕たちは香川の海ごみ海賊団!」です。当イベントでは小学生とその保護者を対象に、海ごみ拾いを行っています。海ごみ拾いの他にも、海ごみ問題に関するミニ授業やゲーム・クイズを行うことで、知識と実践の両方で海ごみ問題をより知っていただく機会を創出しています。3つ目は、フードドライブ活動「LOOP〜つながる輪〜笑顔の輪〜」です。フードドライブとは家庭にある不要な食品を地域の福祉施設やフードバンクに寄贈する活動のことを指します(寄付できる食品には条件があります)。フードドライブは2021年10月に始まった比較的新しいイベントですが、月1回の定期的な実施のみで既に約1000kgもの食品を回収・寄付し、食品ロス削減に繋がりました。

多くの活動を行ってきた中で印象に残っているのが、地域の方からいただいた様々なお言葉です。環境出前講座では、食品ロス削減や二酸化炭素の排出削減のために実際に取り組まれていることを教えていただきました。



経済学部3年 松下 千華
大阪市立東高等学校(現大阪府立東高等学校)出身

フードドライブでは、実施日に来られない方でも寄付できるように、事前回収をご提案・実施して下さった小学校やコミュニティセンターもありました。私たちステップのみならず、地域一帯となって取り組む活動であるということを実感することができました。

地球環境の悪化や社会問題といった世界的・全国的問題は、すぐに効果が見えるものでも、簡単に解決するものでもありませんが、問題を知っておくことや、とりあえず行動してみることが、少しずつ状況を改善していく鍵となります。これからも、ステップでは地域のみさんと交流しながら、SDGsの目標達成に向けて取り組んでいきます。



Twitter・Facebook・Instagramのアカウントにて、活動の様子やコラムなどを随時発信しています。



フードドライブ活動の様子。数時間だけで計100kg以上のご協力をいただく回があります。



海ごみ拾いイベント終了後の写真。参加者のみなさんと一緒に沢山の海ごみを回収しました。



牛乳パックやトイレトペーパーの芯を使ったエコな万筆づくり。



ワークショップの様子。香川大学生同士で意見交換を行いました。



保冷剤を使ったエコなスノーダームづくり。



メンバー全員が香川県学生地球温暖化防止活動推進員としても活動しています。



海ごみ拾いイベント。メンバーも子供たちと一緒に海ごみを拾います。